

MR2041と読み取りソフト 操作案内【簡易版】

内部メモリ / ログモード

株式会社 **エー**
コネクタ (お客様製品相談室)

目次

●MR2041の操作案内 (内部メモリ/ログモード)

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1.画面表示とキー ---2P | 6.収録後のデータの確認 ---6P |
| 2.初期設定 | 7.特定のログだけ設定を
変更したい場合 ---7P |
| 2-1.日時設定 ---3P | |
| 2-2.既定値設定 ---3P | 8.収録データの選択削除 ---8P |
| 3.収録操作の方法 ---5P | 9.収録データの一括削除 ---8P |
| 4.収録の終了およびキャンセル ---6P | 10.初期化 ---9P |
| 5.収録中のデータ確認 ---6P | 11.内部メモリと外部メモリの切替 ---9P |

●データ読み取りソフトの操作案内

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1.機器とPCの接続とデータの読出し ---10P | 2.読み出したデータをグラフ化したい ---12P |
| 3.読み出したデータを保存したい ---13P | 4.保存したファイルを読み出したい ---13P |
| 5.ポート番号の自動設定が出来なかった場合の対処方法 ---14P | |

「内部メモリ」と「ログモード」の特徴と注意点

- ・ログモードは設定した収録間隔に従って、一定時間ずっと収録を取り続けるモードです。
- ・本器にはデータを収録するエリア(ログ)が20個用意されており、それぞれのエリアに1個ずつの連続収録データを保存することができます。
- ・収録方法は、現在選択されているログにそのまま収録を行う「収録」と、現在選択しているログ番号以外を指定して収録する「選択収録」があります。
- ・ログに収録設定を行うと、そのログに収録されている以前のデータは全消去されます。
- ・収録したデータを消さずに次の収録を行いたい場合は、今使用しているログとは違う番号のログを選択して収録を行ってください。
- ・ログの設定を変更すると、そのログに収録されている以前のデータは全消去されます。

収録可能なデータ数と期間

内部メモリのログモードでは20個のログに収録されたデータの総数が4万データまで収録できます。1データは1つのチャンネルで1回の収録を行った場合に相当します。したがって使用するチャンネル数によって収録できる収録数が変化します。

例: 1チャンネルしか収録しない場合は4万データ収録可能。

(準備編27P)

4チャンネルで収録した場合は、1チャンネル1万データ収録可能です。

ただし、使用しないチャンネルは入力種類を「-」で設定してください。センサを挿さないだけでは、「使用中」扱いになります。

また、収録している測定データは1ファイルに保存されます。チャンネル毎に収録データのファイルを分けることは出来ません。

収録可能な期間は、収録インターバルの設定をいくつにするかによって変わってきます。

・収録インターバルを10分に設定した場合

1時間に6データ、24時間で $6 \times 24 = 144$ 1万を144で割ると69.4なので、69日収録可能。

・収録インターバルを1分に設定した場合

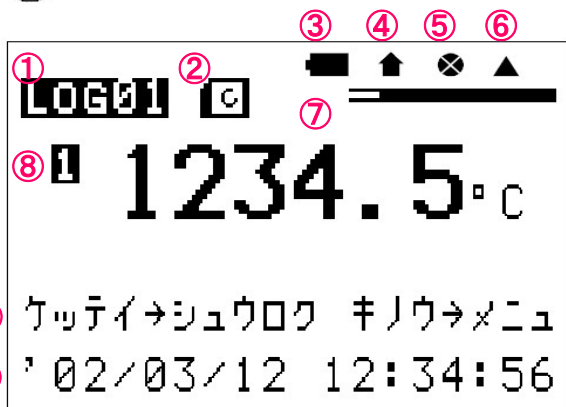
1時間に60データ、24時間で $60 \times 24 = 1440$ 1万を1440で割ると、6.97なので、約7日間収録可能。

MR2041の操作案内（内部メモリ/ログモード）

【1. 画面表示とキー】

通常画面/1チャンネル表示

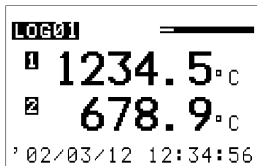
1ch ボタンを押すと1ch表示になります。



測定値を表示している状態が「ホーム画面」です。

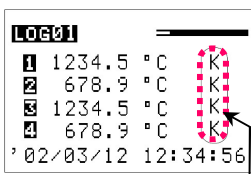
2チャンネル表示

2ch ボタンを押すと2ch表示になります。



4チャンネル表示

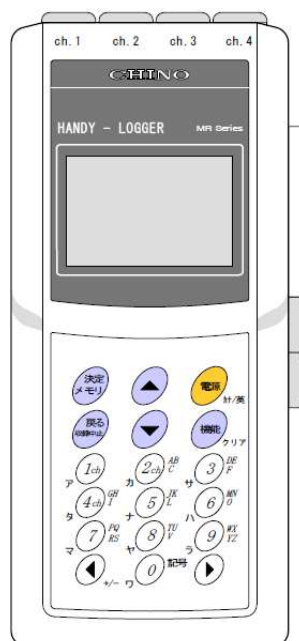
4ch ボタンを押すと4ch表示になります。



センサ種類の設定が表示

	内容
①	現在、選択されているLOG番号です。 この機器にはデータを保存するメモリのブロックが20個あり、それにLOG番号1～20の数字が割り振られています。収録時にどのメモリブロックを使用するかをLOG番号で指定できます。
②	このマークが点灯している場合は外部メモリで使用中です。 内部メモリ使用時には何も表示されません。 内部メモリに変更したい場合は、この資料の末尾を参照ください。
③	電池残量。残量75%以上で消灯、残量25%以下で点滅です。
④	外部電源表示です。ACアダプタを使用している時に点灯します。
⑤	キーロック状態の場合、このアイコンが点灯します。 キーロックを行うと機能キーを受け付けなくなり、実行できるのは、「収録」と「残量/機器名称確認」のみとなります。 ホーム画面において「戻る」キーと「▼」キーを同時に押す毎に、キーロックの設定状態と解除状態が切り替わります。
⑥	ログモードにおいて、収録中のデータにマークを付けることができます。収録中のデータにマークを付けた時、およびデータ確認画面でマークの付いたデータを表示した時に点灯します。
⑦	メモリ残量。真っ黒で残量がFULLです。 メモリ残量が減るに従って、白いところが増えていきます。
⑧	チャンネル1の測定値を表示
⑨	1チャンネル表示だと、基本的な操作がディスプレイ部に表示されません。
⑩	今の日時が表示

キーの機能について



キー	内容
決定メモリ	決定または登録して次画面へ進む。 収録操作の開始
戻る	各項目を取り消して前画面へ戻る。 収録中止
▲	カーソルを上へ移動。データ確認時の時間を戻す。 外部メモリの残量確認(外部メモリモード)
▼	カーソルを下へ移動。 データ確認時の時間を進める。(内部モードのみ)
電源 付/英	電源または表示のON/OFF。 文字入力時のカナ入力モード/英数入力モードの切替え
機能 クリア	基本メニューの表示。 文字入力時のカーソル部文字のクリア
0 記号 ~ 9 数字	数値入力。文字入力。 表示モードの切替え(1, 2, 4ch)
◀ +/-	カーソルを左へ移動。1&2チャンネル表示モードでの表示チャンネル切替え。数値入力時の“-”入力切替え
▶	カーソルを右へ移動。 1&2チャンネル表示モードでの表示チャンネル切替え

【2. 初期設定】

1. 日時設定

本器内部の時計を設定します。

- ① ホーム画面から「機能」キーを押します。
- ② 基本メニューが表示されるので、「カクシュセツテイ」を選択して「決定・メモリ」キーを押します。
- ③ 次に「ジコクセツテイ」を選択して「決定・メモリ」キーを押します。
 - ▲、▼キーで日付または時刻を選択して、テンキー及び<、>キーで日時を入力します。
- ④ 「決定・メモリ」キーを押して確定します。

2. 既定値設定

機器の基本的な収録条件(規定値)の設定を行います。

よく用いる入力(センサ)種類などの収録設定が初期設定(工場出荷時)と異なる場合、設定します。

◆ 事前準備



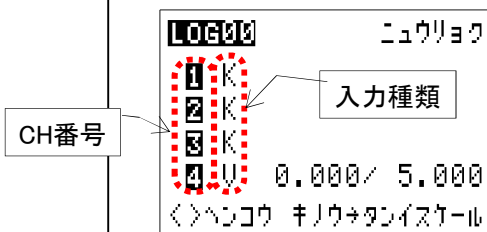
収録済みのデータがある場合、データをPCに保存してから以下作業を行ってください。
作業の中に収録データを一括削除する手順が含まれます。

◆ 設定手順

(準備編 35P 8.規定収録設定/操作編37P 7.収録設定)

① ホーム画面を表示し、「機能」キーを押し→「カクシュセツテイ」→「キテイチセツテイ」を選択します。

② センサの入力種類を設定します。



※センサを繋がないチャンネルの設定は「-」にしてください。
「接続しない」の意味になります。
ただし、全てのチャンネルに「-」を選択した場合、収録を行うことはできません。

現行設定から
変更しない場合

「決定・メモリ」キーを押し、次に進みます。

設定変更したい場合

▲、▼キーで設定したいチャンネルにカーソルを移動し、左右キーで入力種類を変更します。
設定が終了したら、「決定・メモリ」キーを押します。

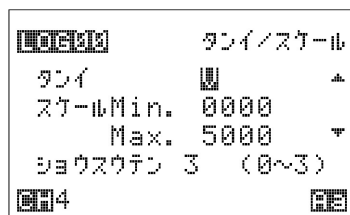
電圧・電流入力の場合

【入力種類で電圧入力の「V」を選択した場合の単位/スケールの設定方法】

(準備編 39P/操作編 41P)

入力種類が電圧の場合、単位とスケールの設定可能です。

- ① 入力種類を「V」を選択し、「機能」キーを押します。
- ② 下記の設定画面が表示されるので、以下3項目を必要に応じて入力します。



○単位: 3文字まで

○スケール

・電圧の場合: 入力「0V」の時の表示値を「Min」に、「5V」の時の表示値を「Max」に入力します。
「-9999」～「9999」の値で入力可能です。

・電流の場合: 入力「0mA」の時の表示値をMinに、入力が「20mA」の時の表示値をMaxに入力します。
「-9999」～「9999」の値で入力可能です。

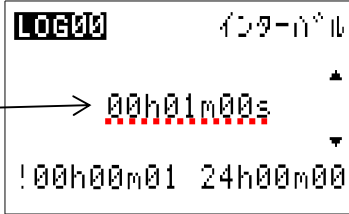
○小数点: 小数点以下の桁数をいくつ表示させるかを設定します。
「0」だと「0」、「1」だと「0.0」、「2」だと「0.00」、「3」だと「0.000」まで桁数を表示します。

- ③ 「決定・メモリ」キーを押して、確定します。

次ページ③へ

③収録インターバル(間隔)を設定します。

どのくらいの時間間隔で測定値を記録するかの設定です。



現在のインターバルの設定値

こちらは1秒～24時間までの間で設定可能という意味の表示です。

設定変更しない場合

「決定・メモリ」キーを押して、次に進みます。

設定変更したい場合

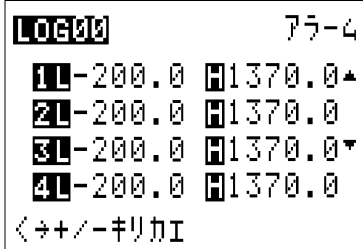
インターバルの設定時間は、1秒～24時間までの設定が可能です。左右キー及びテンキーを使用して表示の時間を任意の値に変更し、「決定・メモリ」キーを押します。

※設定可能範囲外で決定キーを押しても確定せず、設定可能な値に自動的に修正されます。

④警報温度を設定します。(任意設定項目)

この機能は、チャンネル毎に、任意の上限警報温度と下限警報温度を1点ずつ設定することができ、収録中に警報発生した際はアラーム音が出ることが出来ます。

一般的に余り使用しない機能です。



警報機能を使用しない場合

設定値を変更せず、「決定・メモリ」キーを押して、次に進みます。

警報機能を使用したい場合

▲、▼キーで設定したいチャンネルと上限/下限にカーソルを移動し、左右キーおよびテンキーで警報温度の設定値を入力します。設定可能な温度は入力種類によって変化します。

設定が終了したら、「決定・メモリ」キーを押します。

⑤積算基準温度を設定します。(任意設定項目)

この機能は、収録した測定値と積算基準温度の差分を時間積算した値(単位 $^{\circ}\text{C}\cdot\text{h}$)を演算します。

一般的にほとんど使用しない機能です。



積算基準温度を使用しない場合

設定値を変更せず「決定・メモリ」キーを押して、次に進みます。

積算基準温度を使用したい場合

▲、▼キーで設定したいチャンネルの積算基準温度値にカーソルを移動して、左右キーおよびテンキーで設定値を入力します。設定可能な温度は入力種類によって変化します。

設定が終了したら、「決定・メモリ」キーを押します。

※入力が「V」、または未選択のチャンネルは設定できません。

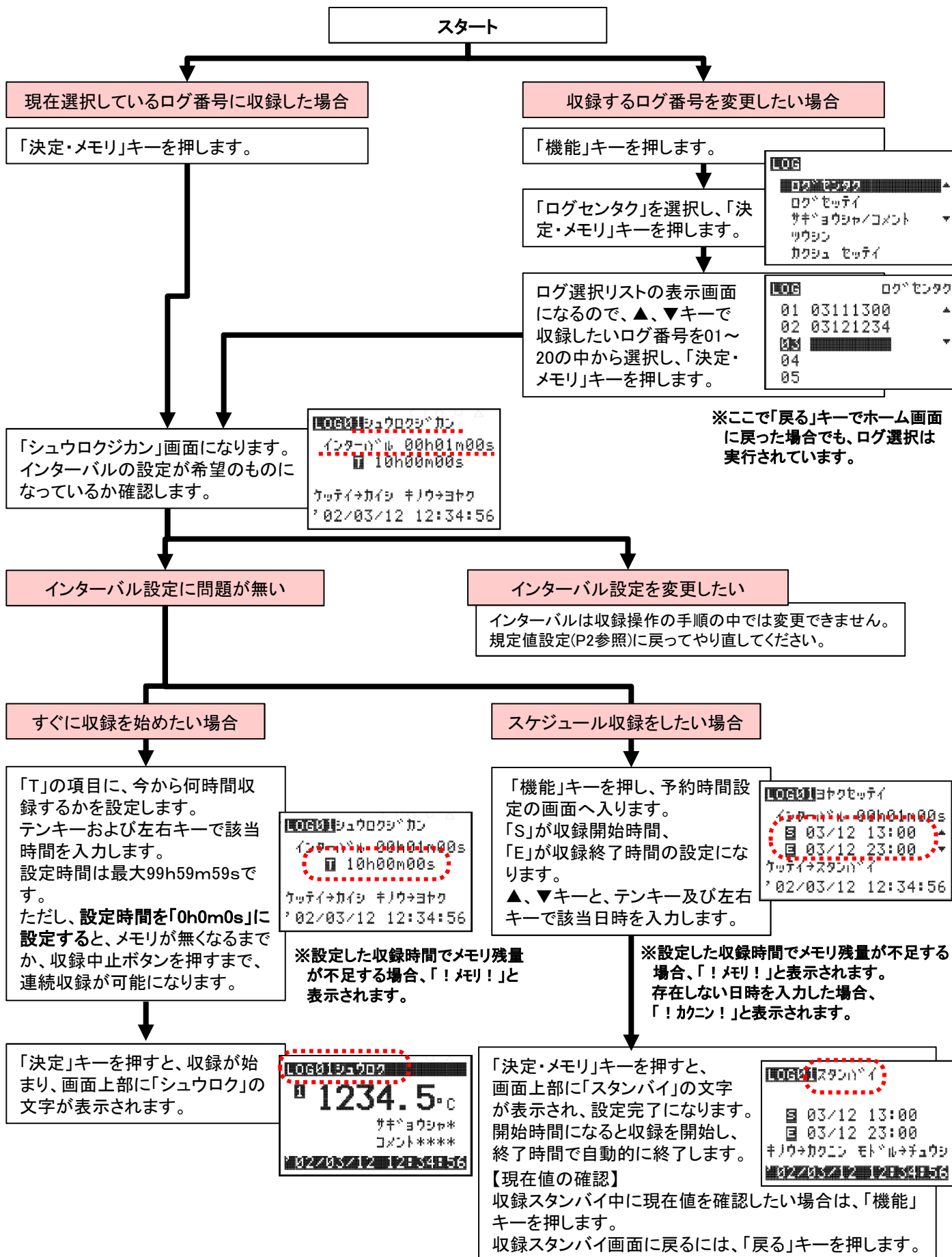
⑥「ログセッテイチ カコキミ?」の確認メッセージが出るので「YES」を選択して「決定」キーを押します。

⑦「戻る」キーを2回押して、ホーム画面に戻り、「機能」キー → 「カクシュセッテイ」 → 「ログ一括削除」を選択。「スペテノログライツカツサクジョシマス!」と確認メッセージが出るので「YES」を選択して「決定」キーを押します。これで、規定値設定の作業は終了です。

【3. 収録操作の方法】



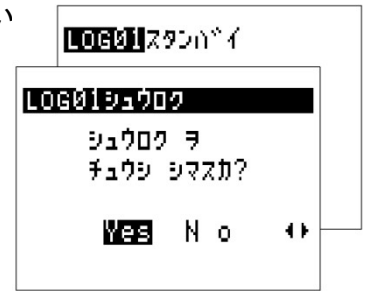
新しく収録操作をすると、指定のログの中の以前の測定データは全削除されます。
ログに必要データが残っている場合は、収録操作の前に必ずデータを取り出してください。



【4. 収録の終了およびキャンセル】(操作編 18P 「2-4 収録の終了およびキャンセル」)

収録中に収録を終了したい場合や、予約収録の収録スタンバイ状態で収録を中止したい場合は以下の手順で行います。

- ①「収録中」画面または「予約スタンバイ」画面を表示します。
(収録データの確認画面を表示している場合、また予約スタンバイ時に現在値確認画面を表示している場合は、「戻る」キーでそれぞれ「収録中」画面もしくは「予約スタンバイ」画面に戻ります。)
- ②「戻る・収録中止」キーを押すと、「シュウロクヲ チュウシ シマスカ」と表示が出ます。左右キーで「Yes」を選択して、決定キーを押します。



【5. 収録中のデータ確認】(操作編 20P 「2-7収録中データの確認」)

収録中に、現在収録しているログの値を確認することができます。

- ① 収録中画面で ▲キーを押すと、収録値確認の画面になります。
現在収録しているログの収録済みデータのうち、最後に収録した値が表示されます。
右上に、現在まで収録しているデータ個数が表示されます。
- ② データを遡って表示するには▲キーを、新しいデータを表示するには▼キーを押します。
- ③ 現在値表示に戻すには、「戻る」キーを押します。



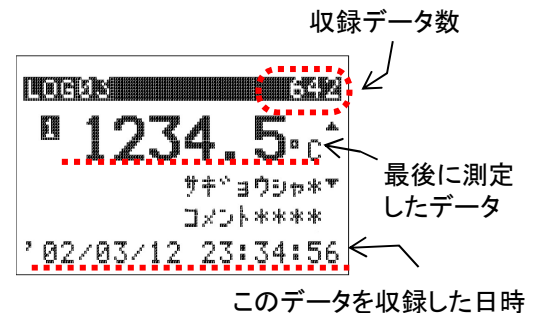
【6. 収録後のデータの確認】(操作編 30P 「5.収録データの確認」)

各ログの収録済みのデータを画面上で確認することができます。

- ① ホーム画面から「機能」キーを押し、表示メニューから「ログセンタク」を上下キーで選び、「決定・メモリ」キーを押します。
- ② ログ選択画面が表示されるので、確認したいログ番号を選択し、「機能」キーを押すと収録済みデータの内で最後に測定した収録値を表示します。

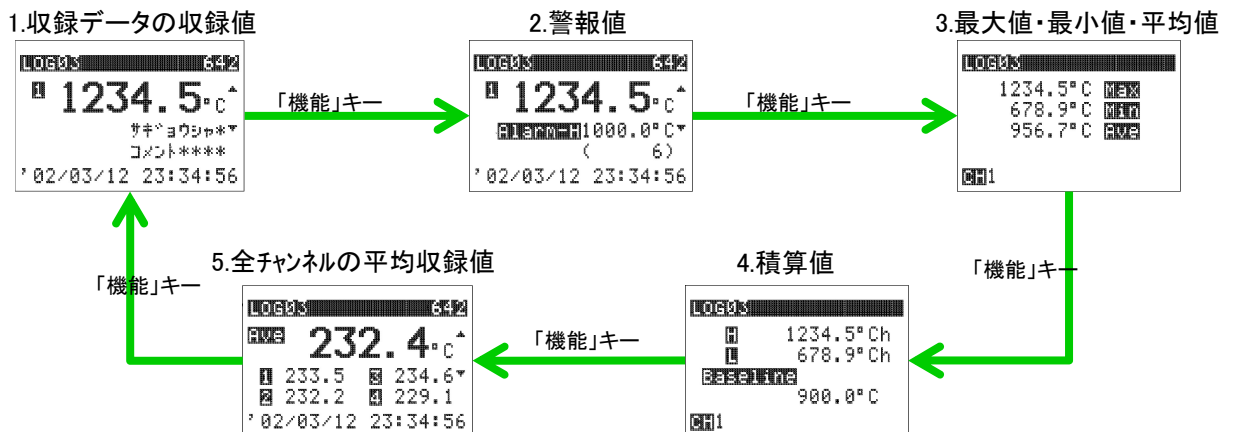


ここで誤って「決定・メモリ」キーを押すと、収録操作の画面に入ってしまうので、気がつかずに、そのまま収録操作をしてしまうと、せっかく収録した測定データが消えてしまいますので、ご注意ください。



データをさかのぼって表示するには、▲キーを、新しいデータを表示するには▼キーを押します。
2ch、4chのボタンを押せば、測定値表示がそれぞれ2ch、4chに切り替わります。

- ③ データの表示モードは下記5種類あり、「機能」キーを押す毎に切替ります。



- ④ 確認が終わったら「戻る」キーでログ選択画面に戻ることができます。

【7. 特定のログだけ設定を変更したい場合】 (操作編 37P 「7.収録設定」)

①ホーム画面を表示し、「機能」キー押し、表示されたメニューから「ログセッテイ」を選択し「決定・メモリ」キーを押します。

②ログ一覧が表示されるので設定したい該当ログを上下キーで選択し「決定・メモリ」キーを押します。

LOG	ログセッテイ
01	03121230 ▲
02	03121234 ▼
03	03121230
04	
05	

③センサの入力種類を設定変更出来ます。

CH番号 →

LOG03	ニューリョク
1	K
2	K
3	K
4	V

入力種類

0.000 / 5.000

<>ハンコウ キリウ+タンイスケール

設定変更しない場合

「決定・メモリ」キーを押して、次に進みます。

設定変更したい場合

▲、▼キーで設定したいチャンネルにカーソルを移動し、左右キーで入力種類を変更します。設定が終了したら、「決定・メモリ」キーを押します。

電圧・電流入力の場合

3Pの【入力種類で電圧入力の場合の単位/スケールの設定方法】を参照

④収録インターバル(間隔)を設定変更出来ます。どのくらいの時間間隔で測定値を記録するかの設定です。

LOG03	インターバル
	00h01m00s
	!00h00m01 24h00m00

現在のインターバルの設定値

こちらは1秒～24時間までの間で設定可能という意味の表示です。

設定変更しない場合

「決定・メモリ」キーを押して、次に進みます。

設定変更したい場合

インターバルの設定時間は、1秒～24時間までの設定が可能です。左右キー及びテンキーを使用して表示の時間を任意の値に変更し、「決定・メモリ」キーを押します。

⑥警報温度を設定変更出来ます。

この機能は、チャンネル毎に、任意の上限警報温度と下限警報温度を1点ずつ設定することができ、収録中に警報発生した際はアラーム音が出すことが出来ます。一般的に余り使用しない機能です。

LOG03	アラーム
1	-200.0 1370.0 ▲
2	-200.0 1370.0 ▼
3	-200.0 1370.0
4	-200.0 1370.0

<+/-キリカエ

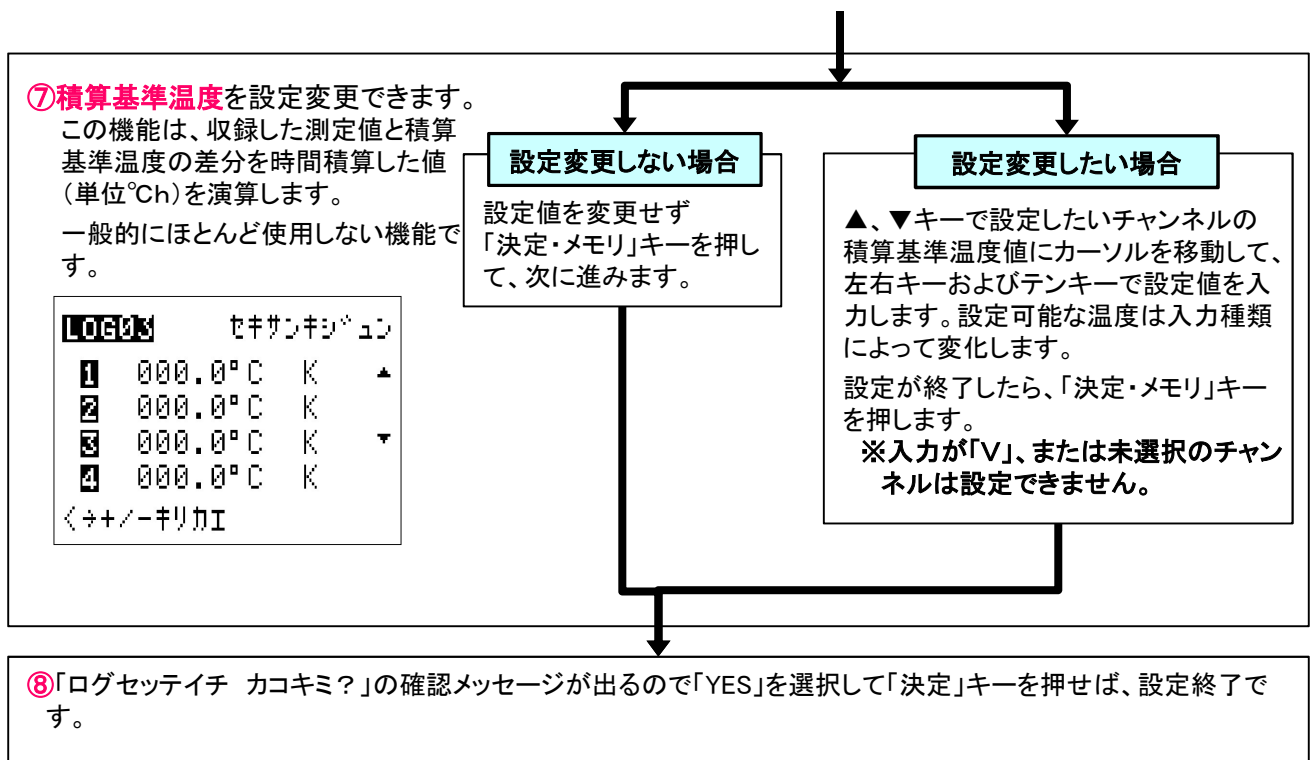
設定変更しない場合

設定値を変更せず、「決定・メモリ」キーを押して、次に進みます。

設定変更したい場合

▲、▼キーで設定したいチャンネルと上限/下限にカーソルを移動し、左右キーおよびテンキーで警報温度の設定値を入力します。設定可能な温度は入力種類によって変化します。

設定が終了したら、「決定・メモリ」キーを押します。



【8. 収録データの選択削除】(操作編 29P 「4.ログ/タグ削除」)

選択したログの中身だけを空にします。



一旦削除したデータは、復活出来ません。必要な収録データは削除前に取り出して、保存してください。
ログ毎に個別の収録設定をしている場合、設定値が既定値に戻ります。「作業者/コメント」の設定は残ります。

- ① ホーム画面から「機能」キーを押します。
- ② メニューの中から「ログ セッテイ」を選択して「決定・メモリ」キーを押します。
- ③ ログ選択の画面が表示されますので、削除したいログを上下キーで選択して「機能」キーを押します。
- ④ ログ削除の確認メッセージが表示されるので、左右キーで「Yes」を選択します。
- ⑤ 「決定・メモリ」キーを押すと、データが削除されます。画面は基本メニューへ戻ります。

【9. 収録データの一括削除】(準備編40P 「9. ログ(タグ)一括削除」)

全てのログの中身を空にします。



一旦削除したデータは、復活出来ません。必要な収録データは削除前に取り出して、保存してください。

- ① ホーム画面から、「機能」キーを押します。
- ② メニューの中から「カクシュセッテイ」を選択して「決定・メモリ」キーを押します。
- ③ 新しいメニューの中から「ログイックツサクジョ」を選択して、「決定・メモリ」キーを押します。
「スペテノログライックツサクジョシマス！」と確認メッセージが表示されるので、左右キーで「Yes」を選択します。
- ④ 「決定・メモリ」キーを押すと、収録データが一括で削除されます。

【10. 初期化】(準備編41P「10.初期化」)

収録済みの設定およびデータを削除し、すべての設定値を工場出荷時の状態に戻します。



この操作を実行すると、収録済みの設定およびデータがすべて削除されますので、必要な収録データは作業前に取り出して、保存してください。

- ①ホーム画面から、「機能」キーを押します。
- ②「カクシュセッテイ」を選択して「決定・メモリ」キーを押します。
- ③「ショキカ」を選択して、「決定・メモリ」キーを押します。

初期化してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので、左右キーで「Yes」を選択します。

- ④「決定・メモリ」キーを押して、実行します。

【11. 内部メモリと外部メモリの切替】(準備編42P/操作編 6P)

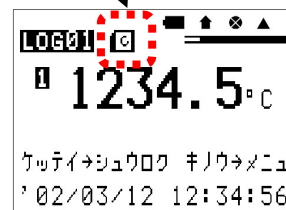
外部メモリを持っている機器であれば、下記操作で内部メモリと外部メモリを切り替えることが可能です。



- ・内部メモリモードから外部メモリモードへ切り替えを行うと、内部メモリモードで収録したデータや収録設定は全て削除されます。実行前にデータの読込、ファイルの保存を行ってください。
ただし、外部メモリからモードから内部メモリに切り替えを行っても、外部メモリのデータは削除されません。
- ・外部メモリモードに変更するには、ログモードの状態である必要があります。
タグモードの場合は、ログモードに変更してから、以下の操作を行います。

- ① ホーム画面で「機能」キーを押します。
- ② 「カクシュセッテイ」を選択して、「決定・メモリ」キーを押します。
- ③ 「メモリモード」を選択して、「決定・メモリ」キーを押します。
- ④ 外部メモリの場合は「Card」、内部メモリの場合は「Int」を選択します。
※現在、どちらの設定になっているかに関係なく、カーソルは「Int」の位置にあります。
- ⑤ 「決定・メモリ」キーを押します。
外部メモリで使用の設定になった場合は「C」のマークが点灯します。

外部メモリモードの時に、このマークが表示



MR2041 データ読み取りソフトの操作案内

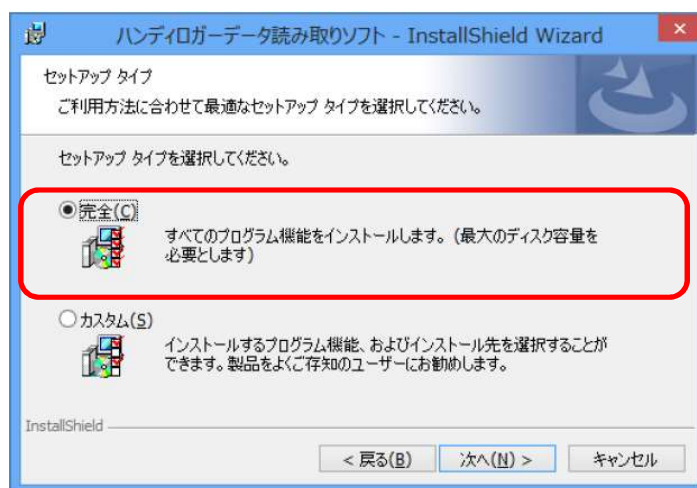
【1. 機器とPCの接続とデータの読出し】

MR2041の内部メモリに収録されたデータをPCに取り込むには、以下手順になります。

- ①MR2041の読み取りソフトをPCの管理者権限でインストールします。
ソフトは下記サイトからダウンロードも可能です。

https://www.chino.co.jp/support/download/soft/loggers_index/soft_mr2041/

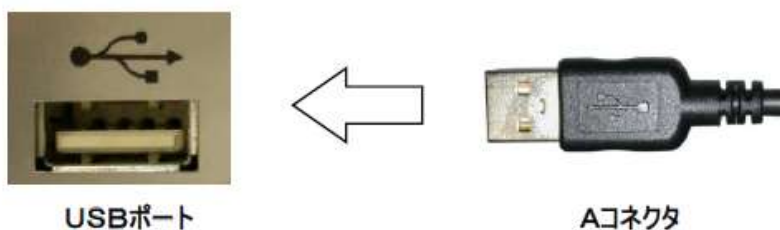
インストール中に、「完全」と「カスタム」を選択する画面が表示されますが、「完全」を選択します。



- ②収録が終わったMR2041をPCと繋ぎます。

※収録中のままでは、データは読み出せません。必ず一旦収録は中止してください。

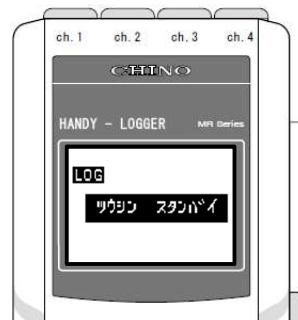
【パソコン側】パソコンのUSBポートに通信ケーブルのAコネクタを接続します。



【MR2041側】通信ポートに通信ケーブルのミニBコネクタを接続します。

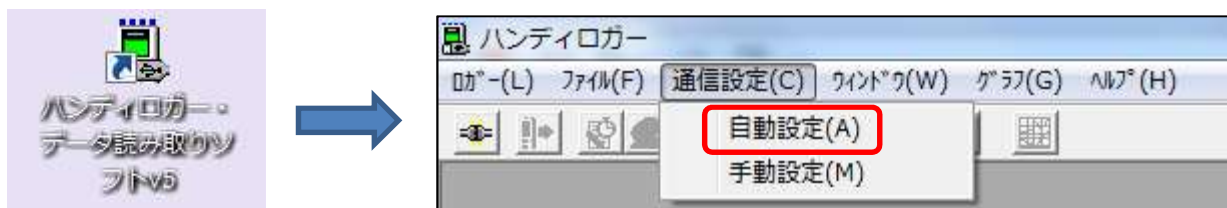


- ③MR2041のホーム画面から、機能キーを押し、表示画面から「ツウシン」を選択し、「決定・メモリ」キーを押し、画面に「ツウシン スタンバイ」を表示させます。



- ④読み取りソフト開きます。メニューの「通信設定」→「自動設定」を選択します。

※この通信設定は、初回使用時に行っていたら、以後の使用の際には不要になります。




- ⑤以下のメッセージが表示されますので「OK」を押します。




- ⑥ソフトウェアがロガーの接続されている通信ポートを自動検索します。検索に成功すると以下のダイアログを表示しますので「OK」を押します。



このメッセージが出ず、ポートが認識できないなどのメッセージが出る場合は、PCのUSBポートの接続口を変更してみたり、PCの再起動を試してから、再度「自動設定」を試してみてください。それでも上手くいかない場合は、14P「ポート番号の自動設定が出来なかった場合の対処方法」を参照ください。

- ⑦ソフトのメニューの「ロガー」→「ロガー接続」を選択するか、ロガーの接続ボタン  を押し、ロガーを接続状態にします。

- ⑧次にメニューの「ロガー」→「ロガー読み出し」を選択するか、ロガーの読み出しボタン  を押します。

- ⑨収録データがあれば右記のような画面が表示されます。PCで取り込みたいデータにチェックを付けて選び、「OK」を押します。



⑩下記のように測定データが表示されます。

【設定値】

ログ名: 収録開始日時を自動でログ名とします。
 (「5月23日14時56分」に収録を開始した場合、
 「05231456」という表示になります。)

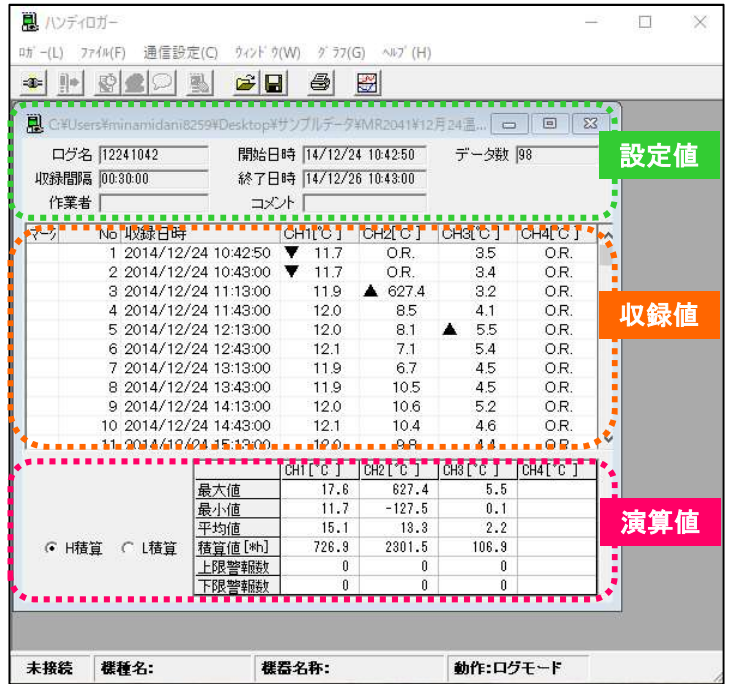
収録間隔: データの収録間隔
 開始日時: 収録を開始した日時
 終了日時: 収録を最後に行った日時
 作業者: 収録時に設定した作業者名
 コメント: 収録時に設定したコメント
 データ数: チャンネルあたりのデータ数

【収録値】

マーク: 収録時に付けられたデータマーク
 No.: データ番号
 収録日時: 収録を行った日時
 CH1~4: 各チャンネルの測定値
 ▲: 測定値の最大値の横に表示
 ▼: 測定値の最少値の横に表示

【演算値】

最大値: チャンネル内の最大値
 最小値: チャンネル内の最小値
 平均値: チャンネル内の平均値
 積算値: チャンネル内の積算値
 上限警報数: チャンネル内の上限警報設定を超えたデータ数
 下限警報数: チャンネル内の下限警報設定を下回ったデータ数

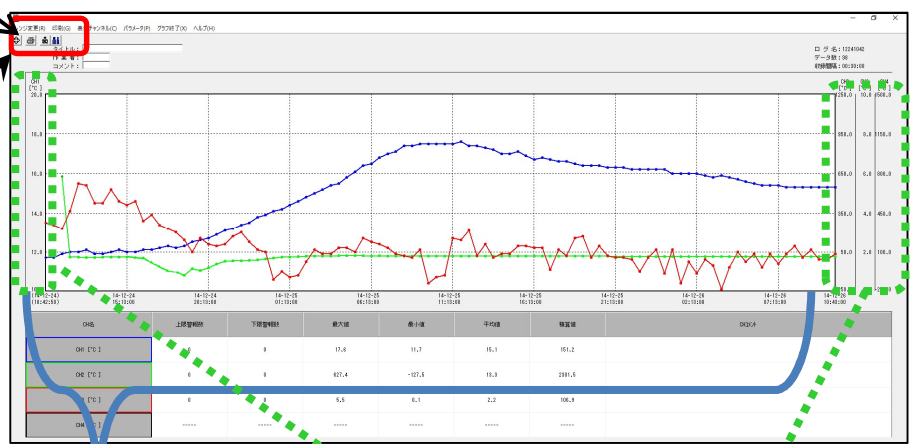


【2. 読み出したデータをグラフ化したい】

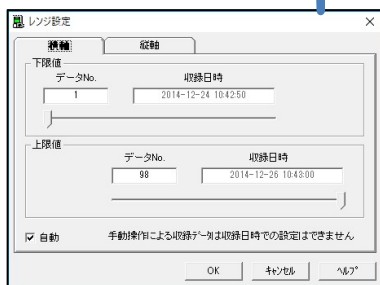
①グラフマークをクリックします。



②グラフが表示されます。



③メニューから「レンジ変更」を選択すると横軸の期間と、縦軸の目盛を設定変更出来る画面が表示されます。



その他の機能は、ソフトの取説を参照ください。

【3. 読み出したデータを保存したい】

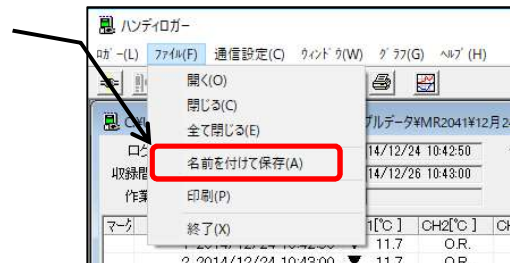
MR2041本体から読み出したデータを保存する場合、MR2041読み取りソフトだけで使用できる専用ファイル形式と、CSV形式のいずれかを選択して保存可能です。

ただし、CSVファイルで保存したファイルは、MR2041読み取りソフトでは開けなくなります。



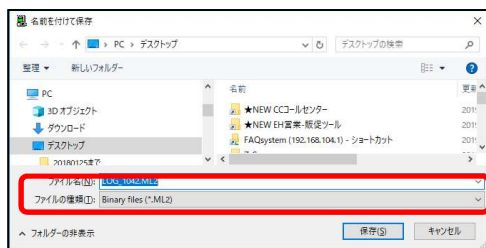
MR2041読み取りソフトでは、収録したデータの編集や加工などは一切出来ない仕様になっています。どうしてもデータ編集したい場合は、CSV形式でデータを保存いただき、エクセルなどで編集して、グラフ化してください。

メニューの「ファイル」から「名前を付けて保存」を選択します。



◆MR2041読み取りソフト 専用ファイル形式で保存したい場合

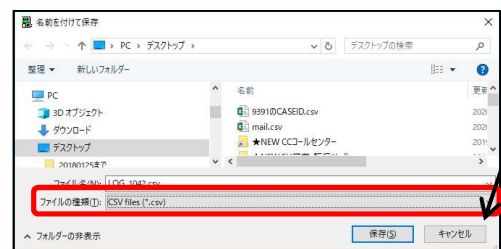
ファイル保存の画面が表示されますので、ファイルの種類項目で「Binary files(*.ML2)」を選択して保存してください。ファイル名称は任意のもので結構です。



他のソフトでは開けないファイル形式になります。

◆CSV形式で保存したい場合

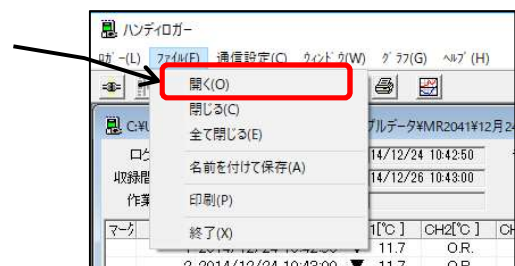
ファイル保存の画面が表示されますので、ファイルの種類項目で「CSV files(*.csv)」を選択して保存してください。ファイル名称は任意のもので結構です。



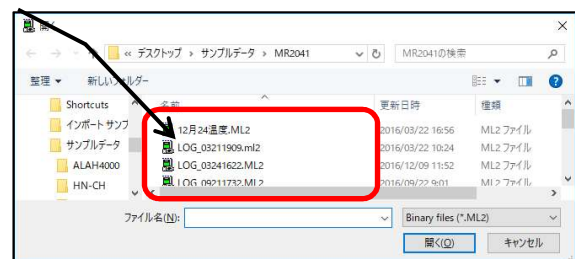
エクセルファイルなど他のソフトで開くことが可能になりますが、MR2041読み取りソフトでは開けない形式になります。

【4. 保存したファイルを読み出したい】

①メニューの「ファイル」から「開く」を選択します。





②ファイルの保存場所を選択できる画面が表示されるので該当のファイルを選択して、開いてください。MR2041読み取りソフトで開けるのは拡張子が「ML2」のものだけです。



5. ポート番号の自動設定が出来なかった場合の対処方法

- ① デバイスマネージャー画面で、MR2041用のドライバーがCOMの何番になっているかを確認しますので、以下操作でデバイスマネージャーの画面を表示させてください。

デバイスマネージャーの出し方

Windows10の場合	Windows8/8.1の場合	Windows 7の場合
画面左下のウィンドウズマーク「  」を右クリックして表示されるメニューから「デバイスマネージャー」を選択します。	「Windows ()」キーを押しながら「X」キーを押します。画面左下に表示された一覧から「デバイスマネージャー」を選択します。	スタートボタン→コンピュータ→右クリックでプロパティ→デバイスマネージャーを選択します。

- ② 「ポート(COMとLPT)」にある「CHINO USB」がCOMの何番になっているか確認します。

◆該当のものが分からない場合

MR2041の接続ケーブルをPCポートから抜いたら消え、差したら表示が出てくるものが該当のものです。

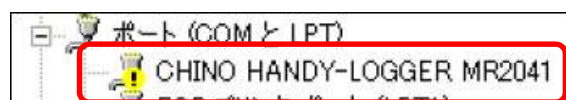
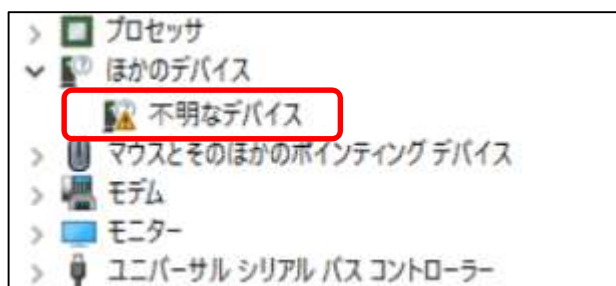
抜いても何の表示も消えず、差ししても何の表示も出てこないようなら、PCがCOMポートの接続機器を認識していない状況です。USBの口がいくつかあるようなら、接続口を変更して、表示が出てくるか確認ください。

それでも表示自体がされない場合は、PC側の問題になるので御社のPC管理者にご相談して、USBの口に挿した機器が認識できるようにしてください。



正常にドライバーソフトをインストールされていれば、この項目にも名称が出ます。

- ◆ 抜き挿ししたら該当のものは分かったが、びっくりマークが出ていたり、不明なデバイスの表示になっていて、COM番号の表示がない。



こういった場合はドライバーソフトのインストールが正常に完了しておりません。

必ずPCの管理者権限で、最新版ソフトをインストールをし直して、COM番号が表示されるか確認ください。

③読み取りソフトのメニューの「通信設定」→「手動設定」を選択します。



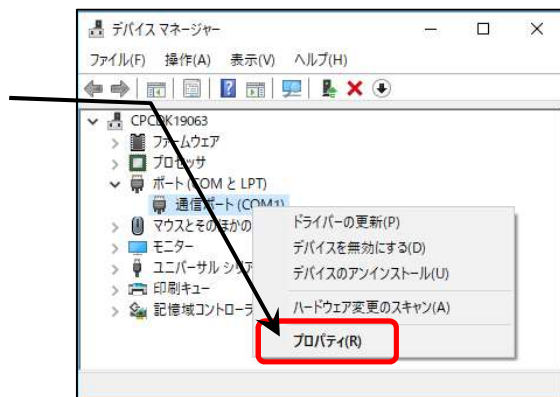
④COM番号をデバイスマネージャーで確認した番号に合わせて、「OK」を押します。
これで、データの読み込みを⑦からやり直してください。



◆COM番号を確認したら17番以降の番号だった場合

ソフト側で選択できるCOM番号は1～16までになります。COMの番号を以下手順で変更できるので、16までのいずれかの支障がないものに変更してください。

①該当のCOMを右クリックし、表示されるメニューの中から「プロパティ」を選択します



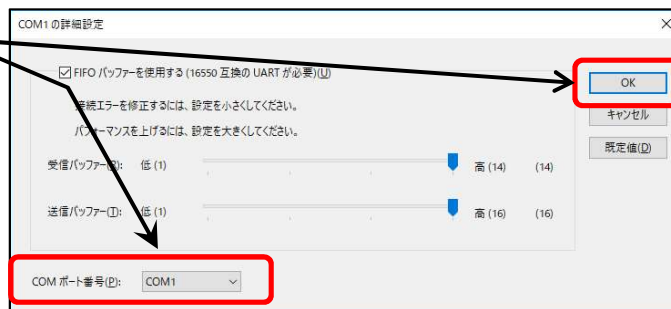
②プロパティ画面が表示されるので「ポートの設定」のタブを選択します。



③詳細設定のボタンをクリックします。



- ④COMの番号を任意のものに変更し「OK」を押します。
この後、PCを再起動すれば作業終了です。



- ⑤読み取りソフトに戻って、通信設定のCOM番号を、変更したCOMの番号で設定しなおして、データの読み取りができるか試してみてください。